

資料 3

工事の実施状況について
(排水管敷設工事、貯留槽改良工事)

工事の実施状況について

排水管敷設工事

◆目的

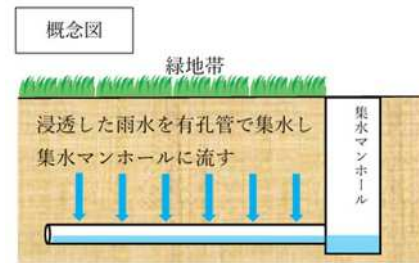
- ・地下水位上昇を抑制するため、植栽帯等を対象に有孔管の整備を行う。

◆背景

- ・これまでの地下水管理システムの運用を通じて、降雨により植栽帯など一部区域で一時的に地下水位が高くなりやすい箇所が見えてきた。
- ・より効率的な地下水管理を行うため、令和3年度に地下水位上昇抑制対策（有孔管の整備）を6街区の一部で試行し、効果が確認できた。

◆工事実施状況

- ・7街区西側にて、令和5年3月に完了
- ・6、7街区西側にて、令和5年度末から令和6年度にかけて実施中（令和7年3月完了予定）



貯留槽改良工事

◆目的

- ・大雨時における地下水管理システム運用の効率化と安定化を図るため、貯留槽の増設を行う。

◆背景

- ・貯留槽は、追加対策工事で整備した施設で、建物下揚水施設からくみ上げた水を一時的に貯留することで、排水処理施設の能力に応じた送水量に調整する役割を担っている。
- ・開場後、出水期における揚水量は年々増加傾向にあり、大雨時に建物外周部と建物下の揚水量のピークが重なると送水量の調整に苦慮することが分かってきた。

◆工事実施状況

- ・5、7街区について、令和5年8月に完了
- ・6街区について、令和6年2月に完了



貯留槽増設後の様子(6街区)

